

一般質問通告書

令和8年6月2日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 14番 是永 宙

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

・質問番号1の用紙にだけご記入ください。

・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { ①. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 3)	姉妹都市・友好都市等との交流の深化と、市民主体の自治体 発 言 事 項 間交流の発展について
要 旨	(項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)
	高島市はこれまで、複数の自治体と姉妹都市・友好都市などの協定を締結し、文化・教育・観光をはじめとした様々な交流を進めてきた。人口減少や少子高齢化が進行する中、自治体間交流は単なる親善交流にとどまらず、関係人口の創出、移住定住、教育交流、防災連携、地域経済循環など、多様な行政課題の解決につながる重要な行政資源として、その役割がより重要になっている。 また近年では、行政主導による交流だけでなく、市民主体で継続的な交流関係が築かれている事例も見られる。例えば、島本町では有志住民による交流協会が組織され、長年にわたり高島市との交流活動が継続されている。しかし、交流実績が積み重ねられている一方で、友好都市協定等の締結には至っていない現状もある。 今後は、既存の姉妹都市・友好都市交流をさらに深化させるとともに、市民主体で育まれている自治体間交流を、地域課題の解決や将来のまちづくりにつながる政策的・戦略的な連携へどのように発展させていくのかが重要であるとの観点から質問する。

問1. 既存の姉妹都市・友好都市交流について

- ① 現在、高島市が締結している姉妹都市・友好都市等との交流は、どのような目的のもと進められており、どのような成果が得られていると認識しているか。
- ② 近年の交流実績について、観光、産業、教育、文化、市民交流等の観点からどのように評価しているか。

問2. 市民主体の自治体間交流について

- ① 島本町と高島市の間では、市民主体による民間交流活動が長年継続されている。こうした行政主導ではない継続的な交流については、地域間の信頼関係の構築や関係人口の形成につながる重要な地域資源であると考えますが、市の見解を問う。
- ② 一方で、このような交流が長年継続していても、友好都市協定等には至っていない現状もある。市として、自治体間協定を締結する際には、どのような観点や意義を重視しているのか。

問3. 今後の自治体間交流の方向性について

人口減少社会においては、自治体同士が競争するだけでなく、それぞれの地域資源や特性を生かしながら連携し、支え合う視点が重要になっていると考える。

今後、高島市として、自治体間交流を単なる親善事業としてではなく、教育旅行、環境分野（オーガニックビレッジ宣言や森林活用等）、若者交流、防災協力、二地域居住、関係人口施策など、地域課題の解決や将来のまちづくりにつなげる戦略的な施策として位置づけ、推進していく考えはあるか。